

～その人らしく生きるために～

Humanlife



社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信 2019年

【冬号 vol.13】

2019年2月発行



目標達成！おめでとうございます！！

チャレンジ目標達成！

こうぎきデイケア・リハビリテーションセンターもみの木



できること、したいことを見つけ、応援します！



定期的に行われるリハビリテーション会議で目標設定 → 動作確認

坂ノ市メディカルフィットネスジムABIES 坂ノ市病院3階



実費でのご利用となり、保険等と関係なくご利用いただけます！

利用枠を拡大！体験利用受付中！



中重度者のご利用者様のできることを探します！

(要介護3～5)

ご本人の意志を尊重した支援のカギは、医師が握っている！
担当者会議・リハビリテーション会議を活用した意志の伝達

リハビリテーションは医師の指示の下に行われるものです。そのため、医師が関与してしまえば、そのご利用者の可能性が狭げられることも起こり得ます。ご利用者の夢の実現や、自分らしく生きることは、主治医の判断に左右されることもあるため、現場での様子やご家族の希望などを伝達し、ご利用者の夢を踏まえた提案に対して、医師が「Yes」と答えてくれるような判断材料（評価結果）を提示することが重要です。

ご本人の希望で普通食の経口摂取が実現した例

脳梗塞による嚥下障害で、退院時は経管栄養、通所リハビリ時はミキサー食～とろみ分の経口摂取を行っていたご本人。現状に満足してはならず、リスクがあっても「口から好きなものを食べたい」という強い意志を訴えられたため、医師に伝達。担当者会議でご家族も命でもリスクを承服し、意志を尊重することになった。医師の指示の下、少しづつ形のあるものを食べる取り組みを行い、普通食で経口摂取。水分はトロミとなり、最終的には腎臓も除去した。形のあるものを口から食べられるようになったことで、外食なども実現可能となった。



月刊デイ（2019年3月号）に、「特集 中重度者のできるを見つける！」と題してもみの木での取り組みが掲載されました。その中でも取り上げていますが、中重度者の中には自分の意志を伝えられない方もいらっしゃいます。そのような方々に対して、その方の生きてきた歴史を知ることやご家族様とのちょっとした会話の中から、リハビリテーションの目標が見つかり、中重度の方々の「活動」や「参加」に繋がっています。

言語聴覚士同行で外食プログラム



大好きだった地域のお祭りに参加！



子供の結婚式に参加！



看護師同行による外出プログラム

Hug



移乗サポートロボット「Hug」



機械浴での入浴体制



褥瘡予防「圧力分布測定」

「リハビリテーション」というと、マシンを使ってトレーニングや歩行練習、バランス練習、身体が硬くならないように手足を動かすというような印象が強いと思いますが、通所リハビリの機能として、中重度（要介護3～5）の方々をいかに「社会との関わり」や「役割」を確保し、「ご自宅での生活を支えていく」のが、求められています。

自発的に動けないからリハビリの対象ではないと捉えがちですが、介護度5のご利用者様ももみの木に通われています。リハビリテーションとは、そもそも『全人的復権』を意味します。『全人的復権』とは、障がいを持った人が身体的・精神的・社会的・職業的・経済的に能力を発揮し、その人らしく生きる権利のことであり、それを目指して行われるのがリハビリテーションでもあります。手足が硬くならないように曲げ伸ばしするだけでなく、下記の写真のようにその人がその人らしく生きるための過程もリハビリテーションの一環になります。

坂ノ市もみの木では、医学的管理の必要なご利用者様に対しては、看護師が送迎時の同行や外出プログラムへの同行も開始しています。ご自宅で生活することは容易いことではありませんが、常に介護に関わっているご家族様にも、その場に同行していただくなど、ご家族様との繋がりや思い出も大切にしながら関わっています。

また日常は、通所リハビリを利用することにより、ご家族様の介護負担の軽減も図っていくことができます。また訪問リハビリとの連携や医師、訪問看護などの連携も取っていき、できる限りご自宅での生活を支援させていただきます。

中重度者の方々のご自宅から出かける場所（通所リハビリ）作りとして、これからも取り組んでいきますので、ご要望、ご相談は、坂ノ市もみの木（佐藤）まで、お気軽にご連絡ください。（097-578-6835）



新年から目標に向かい「猪突猛進」！！

新年最初の行事として、1月7日から1週間をかけて毎年恒例の初詣外出に行きました。参加されたご利用者様は約60名！各曜日に分かれて坂ノ市にある八柱神社に参拝してきました！ご利用者様は、それぞれに目標を掲げて参加されており、歩行がしにくい砂利道をT字杖で歩行することや、手すりのない境内前の階段昇降に挑戦するなど、今まで取り組んできた練習の成果を発揮されていました。

又、ご利用者様の中には、初詣自体が数十年ぶりという方もおられ、「久しぶりに参拝が出来て本当に良かった、今年は良い一年になりそう」と、笑顔が溢れていました。皆様にとって良き1年になりますように。



施設内通貨を活用した新春ジャンボ宝くじ！抽選会＆当選表彰式

坂ノ市もみの木「新春ジャンボ宝くじ」の発売＆抽選会を実施しました。宝くじの発売は年末から始め、過去最高の450枚を完売しました。

又、年明けに抽選会を実施しましたが、今回より新たな取り組みとして各曜日ごとの「生き生き教室」を利用して、抽選代表者をじゃんけんで選出し、ご利用者様の自らの手でくじを引いて頂くようにしました。

当選本数も1等から4等までの合計18本と大幅に増やしました。

見事に1等を当てられたご利用者様は10万モーミーを獲得され、「このモーミーで利用者全員にコーヒーを奢ってあげよう」「今年は賞金で外出プログラムに参加しよう」と意欲的な発言が聞かれました。

「施設内通貨」で意欲を掻き立てます！



一等獲得！



大分市少年少女合唱団ミニコンサート開催

12月22日(土)に大分市少年少女合唱団の方々に来て頂きミニコンサートを開催しました。14名の子供達がクリスマスソングを中心に10曲ほど歌を披露されると、会場は神聖な雰囲気にもまれてご利用者様の笑顔と嬉し涙が多く見られていました。ご利用者様からは「一人暮らしをしているから、クリスマスらしい事は何もしないけれど、今日子供達の歌声を聞いてクリスマスの雰囲気を思い出せた」と、嬉しそうに言われていました。又、坂ノ市病院の入

院患者様も7名ほど参加して頂き、歌声に合わせて手拍子をされる様子が見られていました。



職員紹介コーナー



- ①小さい頃の夢は？
A：警察官
- ②好きな食べ物？
A：あんこ
- ③好きなスポーツは？
A：弓道
- ④趣味は？
A：マラソン
- ⑤好きな言葉は？
A：好きこそものの上手なれ
- ⑥仕事への意気込み
A：少しでもご利用者様が元気になる様に全力を尽くします
- ⑦今後の目標
A：定年まで皆様に負けぬように頑張ります

編集後記

明けましておめでとうございます。今年は5月に皇太子殿下が天皇陛下へ即位され、新しい元号の年が始まります。又、9月からは4年に1度のラグビーワールドカップが日本で開催されるなど、日本全体で行事が目白押しとなっております。坂ノ市もみの木でも、前年の行事内容を更にパワーアップさせてご利用者様の笑顔と行動意欲を引き出せるように全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。(児玉)

こうざきもみの木便り

～ 第13報 ～

発行日：2019年2月1日
 編集・発行：こうざきデイケア・
 リハビリテーションセンターもみの木
 広報担当 羽田野・一万田
 電話番号：097-576-1212
 FAX番号：097-576-1182



新春 ポッチャ大会



「ポッチャ」とはパラリンピックの正式種目です。子供から高齢者まで楽しめる魅力的なレクリエーションスポーツでもあり、全国でも介護レクリエーションとして徐々に浸透し始めています。

こうざきもみの木では、昨年度より、いち早くレクリエーションに取り入れ、今回初となる「新春ポッチャ大会」を開催しました。ご利用者様には大変好評で、皆様積極的にポッチャに参加される様子が見られ、楽しく充実した時間を創りあげる事が出来ました。今後は、当施設のみの対戦に留まらず、坂/市もみの木や、他施設との対戦も開催予定で、ポッチャを通じてご利用者様の活動、そして出会いの場を大きく広げていくきっかけとなる事と期待がふくらみます！



ポッチャの競技方法・・・2つのチームで行なう競技です。目標とする球に向けてボールを転がしたり当てたりしていかに近づけるかを競います。

- ポッチャの魅力！・・・
- ①適度な運動量を得る事が出来る。
 - ②頭を使う事により、脳の活性化に繋がる。
 - ③チーム戦で行う事により、コミュニケーションの輪が広がる。

「活動」から「社会参加」に繋がる！！



創作活動 財布作り



園芸活動



買い物



調理プログラム

こうざきもみの木では、施設内には留まらず、普段の生活を想定したリハビリに取り組んでいます。

- ①調理プログラム②園芸プログラム③買い物プログラム④創作活動…etc. に取り組んでいます。

- ・調理プログラム⇒メニューの立案から一連の動作練習や確認を行なっています。調理プログラムが始まると、自然と体が動き、「出来ない」から「出来た」に！！
- ・園芸プログラム⇒畑の整地を始めとし、種まきから収穫まで季節に合った野菜を育てています。収穫した野菜は、調理プログラムでの使用や販売を行なっています。
- ・買い物プログラム⇒商品の選択から支払い動作、購入後の袋詰めや商品を持っての移動の練習や確認を行なっています。
- ・創作活動⇒昔行なっていた趣味活動に着目し、買い物で使用する財布作りにも挑戦しています。

そんな形にこだわらないリハビリを提供する事が意欲を引き出し、目標や役割を担っています。

★点が線になり、輪が広がる活動を今後も実践していきます(*。*)！！

★ 新人紹介 ★

岩元 慎吾(理学療法士)

5年程、急性期病院で働いてきました。テイクアでの勤務は初めてですが、利用者様のニーズに沿ったサービス、リハビリが出来る様、自分のスキルを向上させ、精進していきます。
 趣味：ボーリング・カラオケ♪



後藤 真紀(介護福祉士)

昨年11月より入職しました。これから皆様と1日1日を、楽しく過ごして行きたいと思います。
 どうぞ宜しくお願いします！
 趣味：温泉巡り♨️
 (休みの日は熊本や別府に行っています。)



関愛会 こうざきクリニック 冬号

訪問リハビリテーション便り Vol.13



寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか？この時期は寒いからと運動不足になりがちです。しっかりと寒さの対策をして外にでる機会をもてるといいですね。

本年も地域の方々が住み慣れた地域で、その方らしく生活を送るための支えとなれるよう努めていきます。



発効日:2019年2月1日
編集・発行:こうざきクリニック・坂ノ市病院
訪問リハビリテーション事業所
広報担当:川上・大野
電話番号:097-576-1212 FAX番号:097-576-1808
E-mail:kouzakihoumon@yahoo.co.jp

～このような時、訪問リハビリを利用してみませんか～

訪問リハビリは、介護保険を使って、ご利用いただけるサービスです。利用される方の心身機能の維持や日常生活の自立を目指したリハビリを提供しています。ご依頼をいただくきっかけは様々です。訪問リハビリは、ご自宅にリハビリの専門職が訪問することに意味があり、下記のような場合に訪問リハビリの利用をされています。

- ・リハビリを受けたいが、外出が大変で通うのは難しい
- ・リハビリを受けたいが、本人がデイサービスやデイケアに行くことを拒否する
- ・じっくり個別のリハビリを受けたい
- ・自宅でリハビリを安全に行いたい
- ・（ご家族が）身体介助の方法を指導してほしい
- ・家で生活する中で、出来るようになりたいことがある…などです。

訪問リハビリでは、「料理を作れるようになりたい」「買い物に行き自分で食材を選びたい」など、ご本人のやりたいことを目標にかけ、自立支援や社会参加、地域参加を目指す方向性にあります。その実現には、気持ちを自宅以外に向けることが大切で、他者との交流も重要になります。活動のきっかけとして、まず訪問リハビリをご利用になることはいかがでしょうか。

～訪問リハビリとデイケアを併用している方のご紹介～

88歳のA様。昨年の初夏に風邪をひいて、1ヶ月間の入院をされました。退院後、週3回のデイケアの利用を再開しましたが、1ヶ月の入院の間に、足腰が弱くなっていることを痛感しました。近所の店まで出かけることが出来なくなりました。「外をたくさん歩く練習をして、買い物に行けるようになりたい」と、昨年の10月から訪問リハビリを週2回利用されています。



玄関を出たら急な階段です。手すりを使いしっかりと昇り降りしています。家の前の坂を歩行器を押して、買い物へ行きます！この日は、薬局と文房具屋に買い物に行きました。しっかりと品定めしました！

天候の悪い日は家の中で運動です。椅子に座った姿勢や立った姿勢で筋力をつける運動をします。

訪問リハビリを利用し、お体の状態が改善されてきても、加齢とともに身体機能は低下していきますので、リハビリを続けて身体機能の維持を図ることは大切です。おひとり運動を続けることが難しい場合、他の利用者や交流しながらリハビリが出来るデイケアの利用を訪問リハビリをしながら検討することがあります。

また、訪問リハビリと通所リハビリの併用は可能です。実際、訪問リハビリの利用者様 62名中 7名の方が併用されています。今までに訪問リハビリの利用を修了し、デイケアの利用に移行した方がたくさんおられます。併用されている方については、デイケアスタッフと情報を共有し、それぞれの事業所でプログラムを考え、目標に向かって頑張ってください。

編集後記

早いもので2019年になり1ヶ月が経ちました。今年は亥年です。亥年は十二支の最後であり、次のステージに向けての準備期間といった意味や、猪肉の栄養が高く病気の予防になるとされ無病息災の年とも言われているそうです。私自身も今年1年健康でコツコツを努力を続け、力を蓄えられるような年にできればと思っています。

大分県内でもインフルエンザが流行しており、ニュース等でも頻りに耳にするようになりました。インフルエンザにならない、拡げないためにもマスクの着用や手洗いうがいなどを徹底して予防していきましょう。

素敵な映画のご紹介♪

びあ映画 初日満足度1位 (10日間で発表)

文部科学省 特別選定映画

厚生労働省 推薦映画

ぼけますから、よろしくお願ひします。

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

大好評につきシネコンにも進出！
全国拡大ロードショー中！

大反響のテレビドキュメンタリー、待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしあぐべつ、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



「シネマ5」(大分市) 上映：1月26日～2月22日

このドキュメンタリー映画を鑑賞し、住み慣れた地域で“暮らす”ということは決してきれいな事では済まされないと感じました。とてもリアルな映像ばかりでした。私たちも老々夫婦で共に暮らし、ご家族様は遠方に住まわれているような方々に関わることも少なくありません。

リハビリテーションというと、運動をしたり、身体機能が改善することが前面に押し出される傾向がありますが、それ以前にもっと、その人の暮らし(生活背景)に目を向け、困っていることを早期に発見する必要があると思いました。他人がご自宅(生活空間)に入るといふ事を好まない方もいらっしゃいます。そのような場合、専門職という色を前面に出さず、1人の人としてそと寄り添い、楽に暮らせる環境を調整するなど、ご家族様などの力を借りながら多職種で支援することがとても大切だと映画を見ながら思いました。

また自分の祖父や祖母との思い出、そして両親のことも改めて考える良い機会になりました。大分での上映は下記の通りとなっています。お時間のある方は是非、ご覧ください。

- 1月26日(金)～2月1日(金) ①10:00～ ②14:25～ ③16:25～
- 2月2日(土)～2月8日(金) ①10:00～ ②14:25～
- 2月9日(土)～2月15日(金) ①10:00～ ②14:00～
- 2月16日(金)～2月22日(金) ①10:00～

「失語症全国大会インおおいた」開催のお知らせ

～失語症のある人もない人も心豊かに暮らせる街をつくらう～
3月16日(土)別府ビーコンプラザで開催!

失語症全国大会「おおいた」
第33回 日本失語症協会 第8回 失語症デイイベント

今日も元気が笑顔はあるか!
～失語症のある人もない人も心豊かに暮らせる街をつくらう～

日時：平成31年 3月16日(土) 9時30分～16時30分
会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza レセプションホール

内容：シンポジウムI 失語症者向け意思疎通支援者養成事業の各地の現状と今後、シンポジウムII 失語症者の集いの歴史と未来に向けて、失語症サミット九州版「九州失語症友の会大集会」、講演「今日も元気が、笑顔はあるか」(大田 仁史氏、医師 茨城県立医療フロンティアセンター 茨城県立医療大学付属病院名誉院長) 失語症のある人たちの合唱・演劇など

主催：失語症全国大会「おおいた」実行委員会
共催：NPO法人日本失語症協会 NPO法人失語症デイ委員会
NPO法人ゆずりはコミュニケーションズ 大分県高層障がい児の会「なごみ」
社会福祉法人大分県福祉サービスセンター

失語症全国大会「おおいた」実行委員会
【事務局】コミュニケーション・デザイン・ピエスの会 担当：中村
Tel: 097-509-1320 Fax: 097-509-1320 Mail: kotonohu@habisapo.jp

失語症の当事者、家族、支援者及び一般市民が一同に会し、失語症の理解を図り、また交流を深めるために開催いたしました。

失語症は主に脳卒中や脳外傷の後遺症として生じ、症状は一人一人異なりますが言葉の失い社会との絆を絶たれた失語症者の苦悩や社会生活上の困難は筆舌に尽くしにくいものがあります。しかし目に見えない障害であるため社会的な認知がなかなか進んでおりません。

今回、「今日も元気が、笑顔はあるか～失語症のある人もない人も心豊かに暮らせる街をつくらう～」というテーマのもとに全国大会を大分で開催することとなりました。失語症のある人やその家族が、少しでも生きやすい、住みやすい社会となるよう、当事者家族だけでなく、支援者である言語聴覚士、会話パートナーをはじめ、地域の方々、行政職の方々も交えて、失語症のある人のいろいろな悩みを共有し、その解決策を皆で話し合う機会が必要です。失語症のある人々及びその関係者が、明日への希望をつなげていくべく、全国大会を開催いたします。

もみの木 オフィシャルブログ「もみの木」の木の下で ☆facebookページもあります☆

☆もみの木や訪問リハビリでの出来事を情報発信中!

アドレス: http://livedoor.jp/mominoki_reha/



QRコード



リハビリ もみの木 検索